

動燃東海事業所ウラン廃棄物貯蔵ピットに関する
予算措置等の対応について

平成 9 年 9 月 2 日
科学技術庁原子力局

1. これまでに貯蔵ピットに関して講じた予算措置

- ①ウラン廃棄物貯蔵ピットは、完成後 30 年近く経過した古い施設で老朽化が進み、一部のドラム缶に腐食が進んでいることから、ピットの改修費を平成 5 年度から計上している。（平成 5 年度から 9 年度までに約 10 億円の予算措置）
- ②しかしながら、動燃事業団においては、止水工事等の応急措置に予算を使い、抜本的な対策を講じられなかったことが表面化した。

2. 当庁の対応

貯蔵ピットについては、動燃からの予算ヒアリングの際に、一部のドラム缶の腐食が進み、老朽化が進んでいるとの説明を受け、安全対策上必要な予算と判断し、施設の改修費、一時保管のための経費等の予算措置を講じてきた。このような状態を招いたことは、動燃の予算執行に係る実態を十分把握していなかったためであり、深く反省すべきことと考えている。今後本問題に関し、動燃事業団に対する調査（動燃本社における業務状況調査については 8 月 29 日）の実施などにより、必要に応じ適切な措置を講じたい。

貯蔵ピット関係予算推移

平成9年8月29日
動力炉・核燃料開発事業団
(単位：百万円)

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
認可	設計費 (16)	建家工事等 (289)	廃棄物移転 (239)	ピット補修 (55)	ピット内壁改修 (40)
				電気設備更新 (26)	結露防止対策 (58)
					搬出入設備設置 (230)
	(16)	(289)	(239)	(81)	(328)
実行	事前調査 (5)	地質調査 (7)	ピット周辺法面の補強工事 (7)	小型蒸留処理装置の購入等 (31)	廃棄物搬出設備等の設計 (10)
		ピット外壁の防水工事 (26)	排水処理装置の購入 (6)		(見込) 建屋工事 搬出設備 地質環境調査 滞留水処理
	(5)	(32)	(13)	(31)	
差額	(11)	(257)	(226)	(50)	
備考	UWTF詳細設計の追加分 (34)の一部	PU-1老朽化対策 (79)	PU-1老朽化対策 (18)	濃縮工学施設無停電電源装置更新 (30)	
		Pu規格外品の再確定 (34)	Pu規格外品の再確定 (84)	濃縮工学施設自動火災報知器の更新 (7)	
		L棟試験フードの設置 (18)	放射性廃棄物の運搬 (16)	東海ウラン系統焼却設備更新 (11)	
		1-7リリイ設備及び放管設備の更新等 (23)	H棟設備撤去等 (49)	節約 (15)	
		節約 (105)	UWTF施工管理 (27)		
			節約 (61)		
		計(259)の一部	計(255)の一部	計(63)の一部	

* 百万円未満を四捨五入のため、合計の不一致あり。